

ご 挨拶

第22回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会の抄録号をお届けさせていただきます。

学術集会の基本テーマは「産婦人科・新生児血液 基礎と臨床の融合」です。この学会は、診療科単位の学会とは異なり、血液疾患を対象とした診療科横断的かつ基礎と臨床領域を横断する、典型的な学際領域の学会です。昨年の本学会以降1年にわたって準備を進めてきましたが、皆様のご協力のお陰で、漸く学会の抄録をお届けできるところまで来ました。今回は特別講演に始まりシンポジウムやワークショップでも基礎的視点からの話題を多数取り上げさせていただきました。基礎医学者と臨床医学者、そして、産婦人科医と新生児・小児科医が一堂に会して共通の臨床課題を語り合えるこの学会こそ、基礎と臨床の融合に基づいた新しい治療法の開発が可能となる最適の場であると考えています。以下に学会の概要をお示しします。

特別講演は三重大学名誉教授（現 鈴鹿医療科学大学教授）鈴木宏治先生に「血栓症の分子病態とDIC治療薬の創製」をお願いしました。また、産婦人科領域の教育講演としては妊産婦死亡の主要な要因である血栓・塞栓症（凝固異常）をテーマとして三重大学医学部附属病院循環器内科の山田典一先生にお願いし、新生児・小児科領域の教育講演としては予防医学の中心課題であるワクチンをテーマとして国立病院機構三重病院院長の庵原俊昭先生にお願いしました。さらに、シンポジウムでは、産科のテーマとして「母体血からの胎児情報」の企画を長崎大学産婦人科の増崎教授にお願いしております。また、新生児・小児科のテーマとしては「iPS細胞の新生児領域への応用」の企画を京都大学iPS細胞研究所副所長の中畑龍俊教授にお願いしました。いずれも現時点では応用が限られていますが、今後大きく発展することが期待される分野です。また、ワークショップでは、小児悪性腫瘍ならびに母子感染といった比較的身近な臨床課題を取り上げました。

一般演題は29題応募がありました。全ての演題を査読委員により査読して頂き、一部修正の後、全演題を採用させていただきました。これらの一般演題は、学会第1日目の午後にポスター形式で口演発表（3分間）および討論（5分間）をして頂き、その内容を評価委員が客観的に採点して上位5～6題を優秀演題として、ポスターセッションに引き続き行われる全体懇親会で表彰したいと考えています。近年若手医師の研究離れが憂慮されています。若手医師の学会回帰と研究志向を奨励する目的でこのような賞を企画させていただきました。一般演題の発表の皆さんには優秀演題賞の受賞を目指して、ご準備と当日のご健闘をお祈りします。また、参加者各位にはこの賞の趣旨をご理解頂き、活発なご討論を期待したいと思います。

また、昨年度の理事会での協議事項に基づき、現在学会では産婦人科・新生児領域の血液疾患の取り扱いに関して診療の参考となる、「産婦人科・新生児領域の血液疾患診療の手引き（仮称）」を企画し、その素案を作成中です。この企画を成功させるためには、産婦人科領域と小児科領域の関係各エキスパートの皆様が企画に対して共通の認識を持つことが最も重要だと考えます。そこで、この学会のメインイベントのひとつとして、この企画に関してこれまでの経過の説明と現時点での原稿素案の解説を行い、それらに関する会員からのオープンなご意見をお聞きする目的で学会第2日目の午前中に「パブリックオピニオンを聞く会」を設定しました。この学術集会を契機に、少しでも良い「診療の手引き（仮称）」作成に向けて、是非とも皆様のご意見を聞かせて頂きたいと思っております。

皆様多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝と本学会の益々の発展を祈念致します。

第22回日本産婦人科・新生児血液学会

学術集会会長 佐川 典正

第22回日本産婦人科・新生児血液学会 ご 案 内

会期：平成 24 年 6 月 29 日（金）・30 日（土）

会場：アスト津 4 F アストホール

ホテルグリーンパーク津 6 F

〒514-0009 三重県津市羽所町700

TEL：059-222-4122(アスト津)

TEL：059-213-2111(ホテルグリーンパーク津)

会長：佐 川 典 正

三重大学名誉教授

洛和会音羽病院総合女性医学健康センター 所長

H P： <http://www.jsognh.jp/scientific/>

事 務 局

三重大学医学部 産科婦人科学教室

〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174

TEL：059-231-5023 FAX：059-231-5202

E-mail:ketsueki2012@clin.medic.mie-u.ac.jp

会場へのアクセス

■学 会：アスト津 4Fアストホール／ ホテルグリーンパーク津 6F「萩の間」

■懇親会：ホテルグリーンパーク津 6F「葵・橘・藤の間」

〒514-0009

三重県津市羽所町700 TEL 059-222-4122（津駅東口から徒歩1分）

URL： <http://www.ust-tsu.jp/access/index.html>

【電車利用の場合】

大阪から 近鉄難波駅から約1時間35分

名古屋から 近鉄名古屋駅から約50分、J R名古屋駅から約50分



【飛行機利用の場合】

中部国際空港（セントレア）から高速船利用
津エアポートライン

<http://www.tsu-airportline.co.jp/top.php>

高速船のりばからタクシーで10分



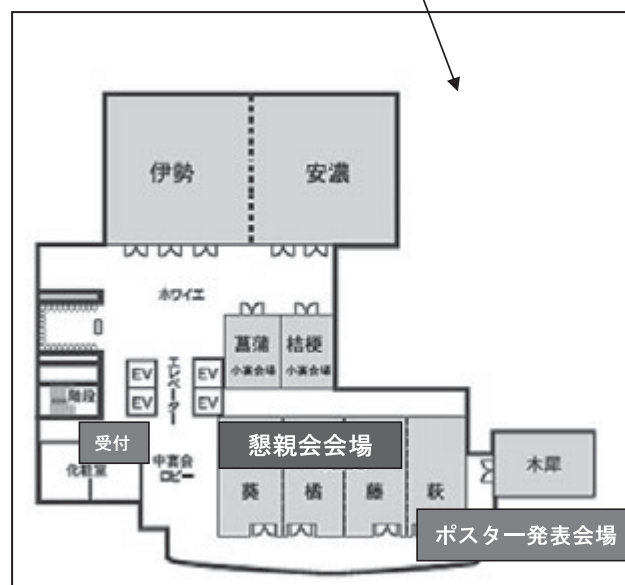
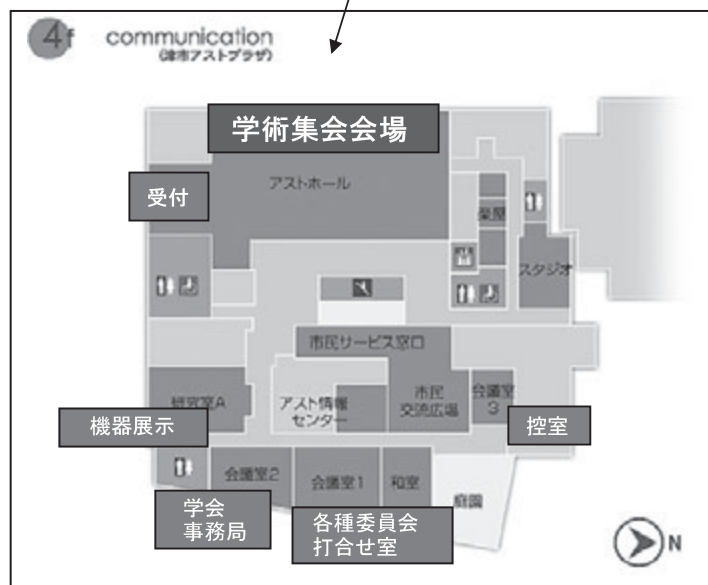
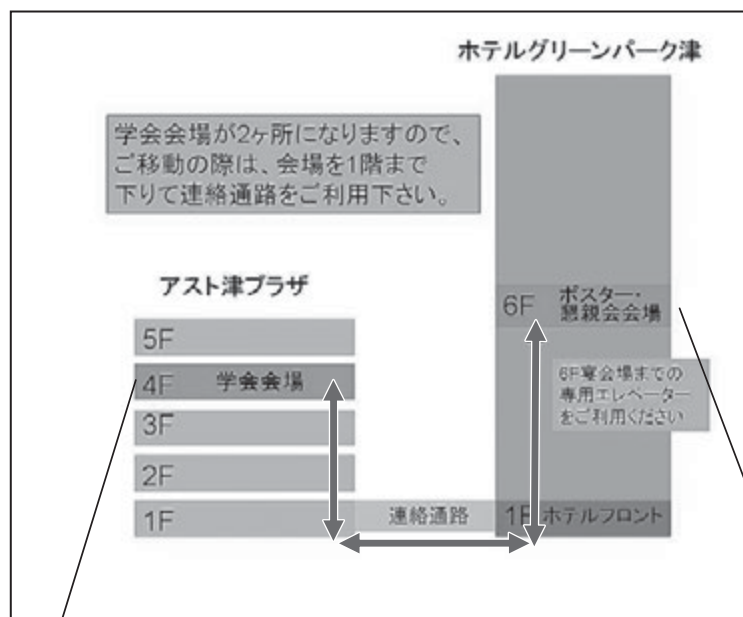
【お車の場合】

伊勢自動車道 津I.C.から約10分

隣接する市営駐車場をご利用下さい（300台収容可能・有料）



会場ご案内



参加者の皆様へ

【参加受付】

受付日時：6月29日（金） 8：50～18：00
6月30日（土） 8：50～12：00
受付場所：アスト津プラザ 4階 アストホール
参加登録費：10,000円

【参加証】

所属・氏名をご記入の上会場内では必ずご着用下さい。

【抄録集】

学会員の方は、本号「学会抄録号」を忘れずにご持参下さい。（会員の方で未着の場合は、当日学会デスクにお申し出下さい）

非会員の方および会員の方で抄録を複数冊必要な場合は、当日受付にて1冊2,500円で販売致します。

【学会単位】

本学会出席は、日本産科婦人科学会専門医（10単位）および日本小児科学会専門医資格更新のための基本単位（5単位）の対象になります。産婦人科の先生には専門医シール（10単位）が交付されますので、受付でお受け取り下さい。小児科の先生の5単位は名札に印刷されておりますのでご利用下さい。

【懇親会】

日時：6月29日（金） 19：20～21：00
会場：ホテルグリーンパーク津 6階 「葵橘藤の間」
会費：無料

【学会入会費】

年会費 8,000円の納入、新規入会手続きについても当日学会デスクにて行います。

【会場内での呼び出し】

各会場内でのアナウンス及びサイドスクリーンによる呼び出しは行いません。

【ご注意】

- 1）会場内では携帯電話はマナーモードに設定して頂くか、電源をお切り下さい。
- 2）講演・発表中の会場内での写真・ビデオ撮影は固くお断り致します。
- 3）口演発表における質疑・討議は必ず座長の指示に従い、所属・氏名を告げてから発言して下さい。

発 表 要 項

【座長の皆様へ】

特別講演・教育講演・シンポジウム・ワークショップ・ランチョンセミナーなど、ご担当のセッション開始15分前までに、会場内の次座長席へお越し下さい。

進行および時間管理は座長に一任致します。時間厳守の上、円滑な進行にご協力をお願い致します。

一般演題（ポスター発表）会場は、ホテルグリーンパーク津 6 Fとなります。

【講演発表の皆様へ】

特別講演・教育講演・シンポジウム・ワークショップ・ランチョンセミナーなどそれぞれ講演時間と討論時間が異なります。各セッションをご参照下さい。

※スライドの枚数に制限はありませんが、ご講演・発表時間は厳守願います。

- 1) 発表予定時間の1時間前までに、PC発表用の媒体を、ホワイエのPC受付へご持参下さい。
- 2) 発表データはご自身のパソコン、CD-RまたはUSBメモリをご持参下さい。
- 3) PC画面の操作はご自身で行って頂きます。
- 4) 次演者の方は会場内の次演者席で待機をお願い致します。
- 5) USBメモリをお持ちの方への注意事項

(ア) ソフトはWindows PowerPoint 2003/2007のものをご使用下さい。

※動画ファイルをご使用、Macintoshをご使用の場合はPCをご持参下さい。

(イ) フォントはOS標準のもののみご使用下さい。

(ウ) ファイル名は「セッション名 演者名.ppt」として下さい。

(エ) 画面の解像度は、XGA（1204×768）をお願い致します。

(オ) CD-R（RW不可）への書き込みは、ISO9660方式をお使い下さい。

※パッケージ方式は会場PCで読み込めない恐れがあります。

- 6) ノートPCをお持ちの方への注意事項

(ア) バックアップ用として必ずメディア（USB、CD-Rなど）もご持参下さい。

(イ) 画面の解像度は、XGA（1204×768）をお願い致します。

(ウ) プロジェクターとの接続ケーブルの端子はミニDusb-15ピンです。

※PCによっては専用のコネクタが必要となりますので、必ずご持参下さい。

(エ) スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除して下さい。

(オ) コンセント用電源アダプタを必ずご持参下さい。

【一般(ポスター)発表の皆様へ】

発表日：6月29日（金）

会 場：ホテルグリーンパーク津 6 F「萩の間」

15：00～17：00 ポスター貼付

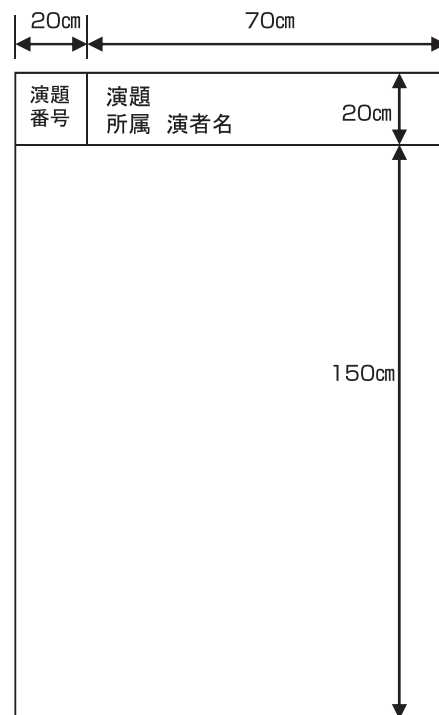
17：30～18：20 ポスター供覧（ドリンクサービス）

18：20～19：20 ポスター発表（発表3分＋質疑応答5分）

※懇親会終了後にポスターは撤収して頂きますようお願い致します。

懇親会終了以降に貼付してあるポスターは事務局で撤収致しますのでご了承下さい。

- 1) ポスターはプログラムに掲載されている演題番号と同じ番号パネルに、ご自身で貼付をお願い致します。(最上部の演題番号は運営事務局で準備します)
- 2) 演題名・所属・演者名については横70cm×縦20cmで各自ご用意ください。
- 3) パネルの有効部分は横90cm×縦150cm内容の配置は自由ですが、末尾に必ず結論を書いて下さい。
- 4) 離れていても読めるように字の大きさを18mm×18mm以上とし、図表も大きく作成し読みやすくして下さい。
- 5) ポスター演題の発表時間は8分とします。
(発表3分+質疑応答5分)
各セッションに座長をおき、演者の発表および質疑応答を司会します。
- 6) 演者は討論をより十分なものとするため、ポスターの前で待機して下さい。
- 7) 内容を評価委員が客観的に採点して上位5～6題を優秀演題として、ポスターセッションに引き続き行われる全体懇親会で表彰します。



第22回日本産婦人科・新生児血液学会 タイムスケジュール

第1日目 平成24年 6月29日 (金)				第2日目 平成24年 6月30日 (土)			
	メイン会場 アスト津 4 F アストホール	ポスター発表・懇親会会場 ホテル クリーン パーク津 6 F			メイン会場 アスト津 4 F アストホール		
	8:50～受付開始				8:50～受付開始		
9:00	開会の挨拶				9:00～11:30 産婦人科・新生児領域血液疾患診療の手引き作成に向けて(素案の解説とパブリック・オピニオンを聞く会)		
10:00	9:10～10:20 ワークショップⅠ「小児科悪性腫瘍」 企画座長：駒田美弘 演者：伊藤悦朗「Down症候群に伴うTAM発症の分子機構」 菊地 陽「TAMの臨床」 石井榮一「新生児白血病：病態と臨床像」			10:00	座長：板倉敦夫 細野茂春		
11:00	10:25～11:55 シンポジウムⅠ 「母体血を用いた胎児診断」 企画座長：増崎英明 座長：瀧澤俊広 演者：三浦清徳「母体血を用いた胎児診断」 関沢明彦「母体血を用いた妊娠合併症の発症予知」 瀧澤俊広「マイクロRNA解析から見出された妊娠高血圧腎症の新規予知因子」 須波 玲「母体内における胎児由来幹細胞動態について」			11:00			
12:00	12:00～12:55 ランチョンセミナーⅠ (共催：CLSベーリング株) 「妊娠高血圧症候群の病態を再考する」 座長：水上尚典 演者：三宅良明			12:00	11:35～12:10 教育講演Ⅱ 「妊産婦における静脈血栓塞栓症への適切な対処法」 座長：金山尚裕 演者：山田典一		
13:00	13:00～13:30 評議員会			13:00	12:15～13:10 ランチョンセミナーⅡ (共催：GEヘルスケアジャパン株) 「産科出血と母体死亡」 座長：池ノ上 克 演者：池田智明		
	13:30～13:40 総会				13:15～14:25 ワークショップⅡ「母子感染」 企画座長：前田 眞 演者：野口靖之「淋菌混合感染を念頭においた妊婦クラミジア子宮頸管炎への対応」 山下美和「サイトメガロウイルス(CMV)の母子感染」 築山尚史「長崎県におけるHTLV-Iの母子感染予防の取り組み」 谷口晴記「HIV母子感染予防対策の現状と課題」 二井 栄「クリニックにおけるワクチン接種の取り組み」		
14:00	13:50～14:25 教育講演Ⅰ 「免疫学からみたワクチンの最前線」 座長：瀧 正志 演者：庵原俊昭			14:00			
15:00	14:30～15:30 特別講演 「血栓症の分子病態とDIC治療薬の創製」 座長：佐川典正 演者：鈴木宏治	15:00～17:00 ポスター 貼付準備		14:30	閉会の挨拶		
16:00	15:35～17:05 シンポジウムⅡ 「iPS細胞の新生児領域への応用」 企画座長：中畑龍俊 演者：斎藤 潤「ヒトiPS細胞からの造血分化と疾患解析への応用」 澤本和延「新生児脳傷害動物モデルを用いた神経幹細胞による再生機構の解析」 大橋十也「ライソゾーム病の細胞・遺伝子治療法の開発」						
17:00	17:10～18:10 ビタミンKフォーラム (共催：エーザイ株) 1.「ビタミンKの新しい作用メカニズム」 座長：寺尾俊彦 演者：井上 聡						
	2.「小児のワーファリン治療」 座長：白幡 聡 演者：高橋幸博	17:30～18:20 ポスター供覧 (ドリンク サービス)					
18:00							
19:00		18:20～19:20 ポスター発表					
20:00		19:20～ 懇親会					

(表中敬称略)

■ 特別講演

特別講演 [平成24年 6 月29日 (金) 14:30~15:30]

S 1 - 2

「血栓症の分子病態とDIC治療薬の創製」

座長：三重大学名誉教授・洛和会音羽病院 総合女性医学健康センター 所長 佐川 典正 先生
演者：三重大学名誉教授（現 鈴鹿医療科学大学薬学部） 教授 鈴木 宏治 先生

■ 教育講演

教育講演 I [平成24年 6 月29日 (金) 13:50~14:25]

S 3 - 4

「免疫学からみたワクチンの最前線」

座長：聖マリアンナ医科大学小児科学 教授 瀧 正志 先生
演者：独立行政法人国立病院機構 三重病院 院長 庵原 俊昭 先生

教育講演 II [平成24年 6 月30日 (土) 11:35~12:10]

S 5 - 6

「妊産婦における静脈血栓塞栓症への適切な対処法」

座長：浜松医科大学産婦人科 教授 金山 尚裕 先生
演者：三重大学医学部附属病院循環器内科 講師 山田 典一 先生

■ シンポジウム

シンポジウム I [平成24年 6 月29日 (金) 10:25~11:55]

「母体血からの胎児情報」

企画・座長：長崎大学医学部産婦人科 教授 増崎 英明 先生
座長：日本医科大学分子解剖学 教授 瀧澤 俊広 先生

「母体血を用いた胎児診断」

S 7 - 8

演者：長崎大学医学部産婦人科 准教授 三浦 清徳 先生

「母体血を用いた妊娠合併症の発症予知」

S 9 - 10

演者：昭和大学医学部産婦人科 准教授 関沢 明彦 先生

「マイクロRNA解析から見出された妊娠高血圧腎症の新規予知因子」

S11-12

演者：日本医科大学分子解剖学 教授 瀧澤 俊広 先生

「母体内における胎児由来幹細胞動態について」

S13-14

演者：山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター 医長 須波 玲 先生

■ シンポジウムⅡ [平成24年 6 月29日 (金) 13:35~17:05]

「iPS細胞の新生児領域への応用」

企画・座長：京都大学iPS細胞研究所 副所長・臨床応用研究部門 部門長 中畑 龍俊 先生

「ヒトiPS細胞からの造血分化と疾患解析への応用」 S15-16

演者：京都大学iPS細胞研究所臨床応用研究部門 講師 斎藤 潤 先生

「新生児脳傷害動物モデルを用いた神経幹細胞による再生機構の解析」 S17-18

演者：名古屋市立大学再生医学分野 教授 澤本 和延 先生

「ライソゾーム病の細胞・遺伝子治療法の開発」 S19-20

演者：東京慈恵会医科大学DNA医学研究所・小児科 教授 大橋 十也 先生

■ ワークショップ

ワークショップⅠ [平成24年 6 月29日 (金) 9:10~10:20]

「小児科悪性腫瘍」

企画・座長：三重大学医学部小児科 教授 駒田 美弘 先生

「Down症候群に伴うTAM発症の分子機構」 S21-22

演者：弘前大学大学院医学研究科・小児科 教授 伊藤 悦朗 先生

「TAMの臨床」 S23-24

演者：帝京大学医学部小児科 教授 菊地 陽 先生

「新生児白血病：病態と臨床像」 S25-26

演者：愛媛大学大学院小児科医学 教授 石井 榮一 先生

ワークショップⅡ [平成24年 6 月30日 (土) 13:15~14:25]

「母子感染」

企画・座長：三重中央医療センター総合周産期母子医療センター 部長 前田 眞 先生

「淋菌混合感染を念頭においた妊婦クラミジア子宮頸管炎への対応」 S27-28

演者：愛知医科大学産婦人科 講師 野口 靖之 先生

「サイトメガロウイルス (CMV) の母子感染」 S29-30

演者：浜松医療センター産婦人科 科長 山下 美和 先生

「長崎県におけるHTLV-Iの母子感染予防の取り組み」 S31-33

演者：長崎大学医学部産婦人科 助教 築山 尚史 先生

「HIV母子感染予防対策の現状と課題」 S35-36

演者：三重県立総合医療センター産婦人科 医長 谷口 晴記 先生

「クリニックにおけるワクチン接種の取り組み」 S37-38

演者：白子クリニック 院長 二井 栄 先生

■ 産婦人科・新生児領域血液疾患診療の手引き作成に向けて (素案の解説とパブリック・オピニオンを聞く会)

[平成24年 6月30日(土) 9:00~11:30]

座長： 埼玉医科大学産婦人科 教授 板倉 敦夫 先生

日本大学医学部小児科 准教授 細野 茂春 先生

■ ランチョンセミナー

ランチョンセミナーⅠ [平成24年 6月29日(金) 12:00~12:55]

「妊娠高血圧症候群の病態を再考する」

座長： 北海道大学医学部産婦人科 教授 水上 尚典 先生

演者： 市立四日市病院周産期母子医療センター長 三宅 良明 先生

共催： CSLベアリング(株)

ランチョンセミナーⅡ [平成24年 6月30日(土) 12:15~13:10]

「産科出血と母体死亡」

座長： 宮崎大学医学部附属病院 院長 池ノ上 克 先生

演者： 三重大学医学部産婦人科 教授 池田 智明 先生

共催： GEヘルスケア・ジャパン(株)

■ ビタミンKフォーラム [平成24年 6月29日(金) 17:10~18:10]

共催： エーザイ株式会社

1. 「ビタミンKの新しい作用メカニズム」

座長： 浜松医科大学 名誉教授 寺尾 俊彦 先生

演者： 東京大学医学系研究科抗加齢医学講座 特任教授 井上 聡 先生

2. 「小児のワーファリン治療」

座長： 産業医科大学 名誉教授 白幡 聡 先生

演者： 奈良県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター 教授 高橋 幸博 先生

■一般演題 (ポスター発表) 18:20~19:20 会場: ホテルグリーンパーク津 6F 萩の間

(敬称略)
(施設名簡略化)

座 長	演 題 番 号	演 者		所 属		ペー ジ	
		演 題 名					
第 1 群 大量出血							
森川 守 北海道大学 産婦人科	1		森川 守	北海道大学産婦人科	S39-40	正常妊婦における経膈分娩直前のアンチトロンビン活性,血小板数,ヘモグロビン値,ヘマトクリット値	
			瀬戸さち恵	埼玉医科大学産婦人科	S41-42	当院における産科出血と凝固系推移の検討	
	2		中林 靖	愛育病院産婦人科	S43-44	分娩時不全子宮破裂を発症しフィブリノゲン製剤、活性型第Ⅶ因子製剤を用いて危機的出血に対応した 1 例	
			井上恵莉	埼玉医科大学産婦人科	S45-46	常位胎盤早期剥離に合併するDICに対してrecombinant thrombomodulin(rTM)を使用した 2 症例の検討	
	3		川上浩介	小倉医療センター産婦人科	S47-48	当科における産婦人科緊急出血に対する止血を目的としたメトロイリントルの使用方針	
	4						
第 2 群 血小板減少							
高橋幸博 奈良県立医科大学 小児科	6		宮川雄一	武蔵野赤十字病院新生児科	S49-50	脾摘後ITP母体より出生した新生児受動免疫性血小板減少症の同胞例	
			矢野阿壽加	音羽病院産婦人科	S51-52	特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) の母体から出生した新生児の血小板減少症の一例	
	7		小浦 詩	富山大学産婦人科	S53-54	口腔内出血を契機に肝由来凝固因子の低下を認めた極低出生体重児の一例	
			小池奈月	奈良県立医科大学産婦人科	S55-56	May-Hegglin異常合併妊娠の 1 例	
	8		高橋幸博	日本未熟児新生児学会ワーキンググループ	S57-58	ビタミンK欠乏性出血症の新規PIVKA-II 検査法ーピプカルテストからデタミナーC L ピプカルテストに	
	9						
第 3 群 欠乏症ほか							
大井豪一 奈良県立医科大学 産婦人科	11		鈴木一有	浜松医科大学産婦人科	S59-60	先天性無フィブリノゲン血症患者の妊娠・分娩管理 5 症例 8 分娩の経験	
			佐道俊幸	奈良県立医科大学産婦人科	S61-62	前回妊娠時に深部静脈血栓症の既往がある先天性アンチトロンビンIII 欠乏症合併妊娠の 1 例	
	12		砂川空広	愛育病院産婦人科	S63-64	妊娠中期より治療を開始した先天性凝固抑制因子欠乏症合併妊娠の 2 症例	
			松永友佳	九州大学小児科	S65-66	仮死と急性腎不全で発症した新生児後天性プロテインC欠乏症の 1 例	
	13		大賀正一	九州大学小児科	S67-68	日本人の新生児・小児における症候性プロテインC欠乏症の発症様式	
	14						

(敬称略)
(施設名簡略化)

座長	演題番号	演者		所 属		ページ
		演 題 名				
第 4 群 血栓塞栓						
渡辺 尚 自治医科大学 産婦人科	16		渡辺 尚	自治医科大学産婦人科	S69-70	
		我が国における帝王切開術後の静脈血栓塞栓症予防目的抗凝固療法の現況				
	17		春田祥治	奈良県立医科大学産婦人科	S71-72	
		抗凝固薬による帝王切開術後静脈血栓塞栓症予防				
	18		高木崇子	杏林大学産婦人科	S73-74	
		当院におけるフォンダパリヌクスナトリウムによる周術期の肺血栓塞栓症予防について				
	19		小味由里絵	三重大学医学部検査医学	S75-76	
		静脈血栓塞栓症ならびに不育症リスクのある妊婦における止血学的検討				
20		高山恵理奈	三重大学産婦人科	S77-78		
	妊娠中の下肢静脈血栓症からPC欠乏症が判明した一例					
21		鈴木宏美	東京女子医科大学産婦人科	S79-80		
	周産期心筋症が疑われた肺塞栓合併の重症妊娠高血圧症候群の一例					
第 5 群 骨髄異形性症候群						
永井公洋 国際医療福祉大学 産婦人科	22		松原慕慶	福井赤十字病院産婦人科	S81-82	
		骨盤腹膜炎症状を呈した高顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)血症を伴う巨大皮様嚢腫の一症例				
	23		柏木唯衣	浜松医療センター産婦人科	S83-84	
		東日本大震災時に広域母体搬送が行われた骨髄異形成症候群合併妊娠の1例				
	24		金野 潤	東京女子医科大学産婦人科	S85-86	
		胎児期発症型の一過性骨髄増殖症候群の管理－3症例の経験より－				
25		唐川修平	広島大学病院小児科	S87-88		
	Noonan症候群に若年性骨髄単球性白血病を合併した 1 例					
第6群 ウイルス感染						
沢田 健 東邦大学佐倉病院 小児科	26		沢田 健	東邦大学医療センター佐倉病院小児科	S89-90	
		先天性サイトメガロウイルス関連性HLHに起因したと思われるNIHFの超低出生体重児				
	27		鈴木真波	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院産婦人科	S91-92	
		臍帯のPCRで最終的に先天性CMV感染症と診断した血小板減少性紫斑病の1例				
	28		千田時弘	三重県立総合医療センター産婦人科	S93-94	
		当院におけるHIV母子感染予防対策				
29		菅谷 亜弓	白子クリニック産婦人科	S95-96		
	当院における風疹抗体スクリーニングと風疹抗体価の経時的変化					